

ポスドク研究者、大学院博士後期課程学生等国際学会派遣プログラム	
The Movement of Rural Women in China's Land Exploitation	
氏名 李 亜姣（リ アコウ）	所属 ジェンダー学際研究専攻
期間	2017 年 8 月 27 日～2017 年 8 月 30 日
学会・分科会名	第6回中国—北欧女性・ジェンダー学会議 プログラム I 「フェミニストアクティビズム——地域実践、グローバル連携、世代間の変化と連続性」 パネル1：中国の地域・グローバルのフェミニスト運動
場所	ノルウェー・オスロ大学
発表者名、発表形式	李 亜姣、パネル発表

内容報告

1. 本会議発表の内容・意義・目的

本発表では、発表者はまず、中国農村女性の対抗運動の背景について紹介した。次は、現代中国 A 村の土地開発における農村女性の対抗運動を事例に、農村女性、彼女たちの親戚・家族・隣人への半構造インタビュー、参与観察を通して、彼女たちの世帯・生家・宗族内部の組織体をジェンダーの視点から分析することによって、従来中国農村における抗議活動を分析するとき用いられてきた主要な概念——「依法抗争」の限界を理論的かつ実証的に明確化した。最後に、現代中国土地開発における農村女性の対抗運動の特徴を指摘した。

質疑応答の時間では、イタリアのフェミニスト経済学者から土地開発によって、村民一人はいくら土地収用賠償金をもらったかという具体的な質問を受けた。金銭上の損失だけではなく、村民メンバーシップ資格による福祉・住宅上の損失も詳しく答えた。この質問によって、中国農村女性の抗議運動の理由——農村女性失地問題についてあらためて考えさせた。1992年に中国の土地開発は本格的に始まった以来、都市—農村間の再分配制度が戸籍制度の代わりに、「村籍」制度である「土地収用賠償金分配案」になった。農村女性が土地を失うきっかけはこの村で生まれて、結婚した女性と彼女の子供・夫を排除する「村籍」制度の成立であるが、実際では、農村女性の失地問題は中国の資本主義移動期における本源的蓄積と深くかかわっているのではないかと考えている。それを今後の課題として研究したいと思う。

2. 会議・分科会の概要

今回、オスロ大学ジェンダー研究センターが主催する第6回中国—北欧女性・ジェンダー学会議は“Age, Agency, Ambiguity—gender and generation in times of change”というテーマを設定した。

そして、中国—北欧の社会・経済的な変化がジェンダーや世代にどんな影響を及ぼすかについての研究をなさる150人ぐらいの学者たちは、世界各地から集まってきた。学術的な交流は開幕会「図1」をはじめ、32個のパネル、5つのキーノート、ランドテーブル討論会を通して行われた。



図1：開幕の後に小さいコンサートが開催された。

UCLAの人類学者・閻雲翔はキーノートスピーカーとして「現代中国における世代間の親族関係とネオ・ファミリーズム」というタイトルで発表した。彼の研究によると、ネオ・ファミリーズムとは、実用主義の下で、親世代は財産の蓄積を重視するものの、子供世代は功利的に親に頼るという現象のことを指すという。「子供の離婚裁判の法廷に立ったのは、子供夫婦の親たち」という社会現象を親世代の権力の復活と解釈した。しかし、「ネオ・ファミリーズムについての論述が国家や社会背景を見逃した」、「ジェンダー視点の分析が見当たらない」という観衆からの批判の声も聞こえた。

また、パネル発表の内容も近年ジェンダー学の多岐をわたる課題を含めた。例えば、「フェミニスト運動」、「ジェンダー・ポリティクス」、「変化する親密関係」、「子供養育文化」、「成長——児童期／青年期」、「高齢化」、「移動と多文化経験」、「危険と不安定の未来」、「性の未来と国際的な移動」、「変化する女性性・男性性・セクシュアリティ」等であった。香港大学社会学者・何式凝は「政治参加のジェンダー化結果——香港雨傘運動女性運動者と世代間親密関係」という発表の中で、行動主義が香港の雨傘運動女性運動者の家庭生活に如何に及ぼしたかを論じた。協力焦点グループ（collective focus groups）という参与観察方法は斬新で印象深かった。

濃密で、多彩な研究にふれて、新しい交流の道を開いた有意義な会議であった。会議の実行委員たちは、会議後のスケジュールにも盛沢山のプログラムを作ってくれた。例えば、会議の最後の日に、参加者をつれて、ノルウェーフエミニズム運動史を紹介するフェミニストウォークやノルウェーのジェンダー平等行政組織「図2」を案内した。



図2：ノルウェーのジェンダー平等行政組織についての報告

3. 今後の予定

本発表は、平成 28 年度お茶の水女子大学「グローバル女性リーダー育成カリキュラムに基づく教育実践と新たな女性リーダーシップ論の発信」プロジェクト「ポストドク研究者、大学院博士後期課程学生等国際学会派遣」プログラムのご支援をいただき、心より感謝申し上げます。本発表の内容は、報告者本人の博士論文の一部として平成 30 年に公表する予定である。本発表を発展させた論文は『経済社会とジェンダー』3 号に投稿する予定である。また、2018 年度のフェミニスト経済学会での報告も予定している。

参考文献

- Yunxiang Yan, 2016. "Intergenerational Intimacy and Descending Familism in Rural North China." *American Anthropologist*, 118(2): 244-257.
- Ho, P. S. Y. Jackson, S., & S.T. Kong(in press). "Speaking against Silence: Finding a Voice in Hong Kong Chinese Families through the Umbrella Movement." *Sociology*.

り あこう／お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 ジェンダー学際研究専攻

The Movement of Rural Women in China's Land Exploitation

Yajiao LI